

様式 1

東北大学大学院情報科学研究科

(1)	シンポジウム開催支援経費 学際的研究プロジェクト支援経費		実績報告書
タイトル	第3回 高性能・高サバイバルルータとネットワークに関する国際ワークショップ The 3rd International Workshop on High Performance and Highly Survivable Routers and Networks		
主催者	(2) 東北大学大学院情報科学研究科 堀口進		
期 日	2008年3月13日(木) -14日(金) 9:00-18:00		
会 場	東北大学大学院情報科学研究科 大講義室		
出席者数 (講師・パネリスト等を除く)	51名		
講師・パネリスト等の氏名・勤務先等	A. パタビナ (ミラノ工科大学教授) Y. Fu (上海交通大学教授) M. 過 (会津大学教授)		
(3) 目 的	高性能・高サバイバルルータとネットワークに関する最新の研究成果を発表・討論を通じて次世代ネットワークの研究に貢献する。		
(4) 内 容	2008年3月13日-14日の2日間にわたり第3回 HPSRN2008 (The 3rd International Workshop on High Performance and Highly Survivable Routers and Networks) 国際ワークショップを開催した。国際会議では、世界7カ国から高性能・高サバイバルルータとネットワークに関する最新の研究成果について発表ならびに熱心な討論があった。その内訳は、基調講演2件、招待講演1件、一般講演23件が6セッションで2日間に渡り行われ、世界7カ国の研究者と本学教員や学生が熱心に討論した。		
(5) 情報科学研究科 にとっての意義・貢献度	東北大学大学院情報科学研究科の講演も多数あり特に、若手育成のため博士後期学生の発表も積極的に行った。また、世界的に著名な研究者の基調講演や最新の研究成果について議論するなど、東北大学大学院情報科学研究科からの情報発信としての意義や貢献度も高い。		

注 (1) 「シンポジウム開催支援経費」「学際的研究プロジェクト支援経費」より、該当する項目を記載してください。

(2) 当学術企画実施の代表者もしくは責任者及び協力者名を全員記載してください。

(3) 当学術企画を実施した目的を簡潔に記載してください。

(4) 実施された当学術企画の内容を簡潔に記載してください。

(5) 大学院情報科学研究科に対する当学術企画の意義や貢献度を簡潔に記載してください。